

平成27年8月21日

加西市議会議員 三宅利弘 様

21政会

幹事長 森田博美



## 調査研究報告書

下記の通り行政視察を実施しましたので、報告いたします。

### 記

1. 調査年月日 平成27年7月28日(火)～30日(木)
2. 調査先 山形県天童市・新庄市・米沢市
3. 出席者 織部 徹・衣笠利則・長田謙一・中右憲利・原田久夫・森田博美・森元清蔵・三宅利弘(但し、北はりま消防組合議会の臨時議会出席のため、原田議員・三宅議員は天童市のみ)

#### 4. 研修内容

山形県天童市

7月28日(火) 15:30～17:00

・Tendo すこやか My 進事業

別紙1

こころの体温計事業

(視察対応者)

市議会議員

小松善雄

健康福祉部健康課

村山課長、阿彦課長補佐

議会事務局

大戸副主幹

山形県新庄市

7月29日(水) 13:45～15:30

・施設一体型小中一貫教育について

別紙2

(視察対応者)

教育委員会学校教育課

柿崎小中一貫教育推進専門員

新庄市立萩野学園

小松校長

議会事務局

三原主査

山形県米沢市

7月30日(木) 10:00～11:30

・人口定住プロジェクトについて

別紙3

(視察対応者)

企画調整部総合政策課

渡辺課長、松田副主幹、高橋室長、

伊藤主査

議会事務局

三原次長、我妻主任

○添付資料

- ①視察行程表、②研修資料、③写真

## 山形県天童市（H27年7月28日視察）

### 視察テーマ1：Tendo すこやか My 進事業

#### ①事業の目的

- ・健康寿命の延伸を目指し、市民一人一人の健康意識の向上、主体的な健康づくりを促進する。
- ・「スポーツ・健康づくり」日本一を目指している天童市として、健康課主催の事業や関連課、公民館事業、運動施設と連携し、楽しみながら運動や健康づくりを実践できるよう支援する。

#### ②事業の概要

##### ポイントカードをもらう

健康センター、対象健康教室・スポーツセンターでポイントカードをもらう。対象年齢は20歳以上の天童市民。

##### 目標を定め、ポイントをためていく

健康づくり目標を2つ自分で定める。また、ポイント付与対象となるイベント、健康教室などに参加してポイントをためる。（1回の参加で10ポイントが付与される）

##### 景品の応募

50ポイント以上たまったら応募期間内に健康課にカードを提出して応募する。（1人1回まで）

健康課で獲得ポイント等を確認→景品を贈呈（一人1種類）応募者が多い場合は抽選とする。

##### 実施期間等

- ・平成26年7月1日～平成27年3月31日
- ・ポイント累積期間 平成26年7月～平成26年12月
- ・応募期間 平成26年12月～平成27年1月
- ・景品の抽選・発送 平成27年3月

#### ③景品

ドリップ用コーヒー豆セット・つや姫（米）2kg・ゆびあ（温泉）回数券他、協賛団体から提供される景品（協賛団体：天童市東村山郡医師会、天童市歯科医師会、天童・東村山地区薬剤師会）

#### ④効果

- ・朝のラジオ体操等実施しているが、市民が誘い合わせてくるようになり、運動する人数が増えて来ている。

#### ⑤平成27年度事業拡充内容

##### ポイント付与対象事業の拡充

- ・私立公民館、市スポーツセンター、いきいきサロン等における対象とする運動事業の拡大。

##### 実施期間の延長及び応募箱の個数拡大

- ・実施期間 平成27年5月1日～平成28年3月31日
- ・ポイント付与及び応募期間 平成27年5月1日～平成28年2月29日 景品発送 平成28年3月
- ・応募箱を市役所庁舎や健康センターの他に、市のスポーツセンターにも設置する。

##### 協賛団体（景品提供団体）の増加

天童市東村山郡医師会（電子体温計） 天童市歯科医師会（音波ブラシ） 天童・東村山地区薬剤師会（家庭用救急セット） 国際ソロプチミスト天童（ミニボール） 天童ライオンズクラブ（サージカルマスク） 天童王将ライオンズクラブ（天童ワイン） 天童舞鶴ライオンズクラブ（滝の湯入浴付朝食券）他

## 視察テーマ2：こころの体温計事業

### ①事業の目的

不安定な経済・雇用情勢から、生活に不安を抱える方が増加し、こころの健康づくりがより重要になっている。また、自殺の原因は、問題が複雑に絡み合っており、周囲への影響も少なくない。

そこで、インターネット世代の若年層や勤労層に対し、心の健康に関する関心を高め、相談窓口の広報力を強化し、早期発見・早期治療への啓発推進や自殺予防に資する事を目的として、メンタルヘルスのセルフチェックシステム「こころの体温計」を実施する。

※メンタルヘルスのセルフチェックシステム「こころの体温計」とは、(株)エフ・ビー・アイと東海大学医学部が共同開発したもので、医学的根拠をもつもの。

自己問診形式のセルフチェック、携帯電話、パソコンのどちらでもアクセス可能。

### ②事業の概要

メンタルヘルスチェック（天童市のホームページからアクセスできる、個人情報取得しない）

#### ・本人モード

本人の健康状態や人間関係、住環境など、4択式の質問に回答すると、ストレス度や落ち込み度が水槽の中で泳ぐ金魚、猫、等の絵になって表示される。（例：ストレス度が上がるごとに金魚が怪我をしていく）

#### ・家族モード・・・家族の心の健康状態をチェックする。

#### ・赤ちゃんママモード・・・赤ちゃんのいるママの心の健康状態をチェックする。

#### ・ストレス対処タイプテスト・・・ストレス対処法のタイプを診断

#### ・アルコールチェックモード・・・飲酒が心にどのような影響を与えているかがわかる。

#### ・楽観主義のすすめ「こころのエンジン」・・・

何事も悲観的に考えてしまう方に「楽観主義のすすめ」を勧める。

#### ・デートDVモード・・・これって愛？これってDV？二人の関係をチェック。

#### ・自死家族ケアサイト「大切な人を突然亡くされたあなたへ」・・・

大切な方を自死でなくされた方に、心のケアをしていただくためのサイト。

メンタルチェックの後のケア（相談窓口等を紹介）

#### ・天童市健康センターこころの相談事業

こころの健康相談・・・精神科医師による相談、年6回（事前予約制）

アルコール家族相談・・・精神保健福祉士による相談 年4回（事前予約制）

アルコール家族ミーティング・・・

アルコールに伴う問題回復のためにはご家族の方が「巻き込まれ」から抜け出し、元気を取り戻すことが大切。ご家族の方の今の気持ちや体験を分かち合う会。

#### ・天童市の他の相談窓口（健康課市民健康係 健康課母子保健係 保険給付課介護支援係）

#### ・山形県の相談窓口（山形県精神保健福祉センター 村山保険所地域保険予防課 山形いのちの電話）

**視察テーマ： 施設一体型小中一貫教育について**

**①新庄市の小中一貫教育の形**

平成18年からの実践の上に立って、市内で3つの形態での小中一貫教育の推進を図っている。

**複線連携型小中一貫教育**

明倫中学校 ⇔ 沼田小学校・北辰小学校

八向中学校 ⇔ 本合海小学校・升形小学校

近隣の複数の小学校と1つの中学校で敷地は別々で、教員や児童生徒が移動して学習したり、活動したりする。

**単線連携型小中一貫教育**

新庄中学校 ⇔ 新庄小学校

日新中学校 ⇔ 日新小学校

近隣の1つの小学校と1つの中学校で敷地は別々で、教員や児童生徒が移動して学習したり、活動したりする。

**施設一体型小・中一貫教育**

萩野学園。萩野中学校・萩野小学校・泉田小学校・昭和小学校を統合。同じ校舎内で、小学校1年生から中学校3年生（9年生）までが共に学校生活をおくる。

**②施設一体型小・中一貫校 萩野学園**

**設立の経緯**

- ・新庄市北部の萩野地区は、かつては「萩野村」として独立した自治体として存在していた。
- ・新設された小・中一貫教育校は140年に及ぶ歴史ある小学校と中学校を統合し、この地区唯一の学校となる。
- ・さらに、「新庄型小中一貫教育のモデルとなる学校」としても位置付けられている。
- ・総称は公募し「萩野学園」に決定、校章も公募で決定、校歌は、歌詞の内容が低学年の児童でも難しくなく、成長著しい高学年の生徒になっても意味が幼くならないよう配慮されている。

**経営の方針**

**①地域と共に支え合う学校づくり**

地域の教育力を教育活動に出来るだけ取り入れ、そこで学んだ成果を地域に発信して地域を元気にする。

**②地域と関わり、地域に学ぶ「ふるさと学習」の推進**

ふるさと学習を通じて社会で生きる力をつけると共に、地域の大人等異世代や異分野との交流を通して地域の人や自然を再発見し、地域を元気にする活動をする。

**③将来への夢を育む「キャリア教育」の充実**

「地域で支えるキャリア教育」という考え方を重視。1～9年の学年間でのつながりを重視し、児童生徒一人一人のキャリア形成に関する学習や活動内容、成果を記録し、個人のポートフォリオと共に引き継いで指導を行う。

#### ④いのちの尊厳を根底に据えた「こころの教育」の推進

異学年交流や地域との協働により「こころの教育」の充実を図る。小中学校の教員が連携・交流し、児童生徒一人一人の個性に応じたきめの細かい支援を充実させる。

#### 小中一貫教育校の有効性を追求する

##### ①発達段階に応じた4-3-2ブロック制

小中9年間の前期4年、中期3年、後期2年に区分し、発達段階を重視した指導を行う。

自然や文化を実際に見て、触れて感じるという体験的学習を大切にする。また、ブロック内交流では4年生が主体的にリーダーシップを自覚するような場面設定を工夫する。

##### ②小学校段階からの一部教科担任制

専門性の高い指導を早い段階から行う事で、学習の面白さや興味を高める。また、小学生が感じる中学校の教科担任制への戸惑いを解消する。

教科担任制 3・4年生は音楽を中心に導入、5・6年生は社会・理科・音楽等について導入。

##### ③8・9年生の教科教室制

ホームベースルームを設置し、学級集団への帰属意識や生徒の居場所づくりを行うと共に、教科の専門性を生かし、子どもが主体的に調べ、まとめ、発表するという問題解決型の授業を目指すために、教科教室制（国語、数学、社会、外国語）を導入。

教科教室には生徒作品等を常時展示して学習意欲を高める環境を整える。

「児童生徒がすぐ使える」「児童生徒の参考になる」に配慮したレイアウトを作る。

##### ④異学年交流の推進

小学生行事への中学生による役員ボランティア活動、小学校を訪問しての中学生による読み聞かせ、生徒会によるいじめ防止アピール等の実践により、小学生が中学生に親しみや憧れ、尊敬の思いを持ち、中学生が小学生への指導、手伝いを経験する事により、自分が必要とされていると感じる機会となっている事が分かってきている。

#### 小中一貫教育校の課題を克服する

##### ①広がる通学区域への対応（スクールバス運行）

小学校3校の統合に伴って通学区域が広がるためスクールバスを配備。また、学校・保護者・地域・企業・関連機関が結集し、協力して児童生徒の安全を守る。

##### ②心の成長を促すブロック節目の行事の設定（2分の1成人式、立志式、卒業式）

9年間の継続させた教育と緩やかな接続を図るため、4-3-2の学年ブロックに2回の区切りを設ける。前期と中期の間に、自己の成長を肯定的に受け止められるよう「1/2成人式」、自律的な生活を促すよう中期と後期の間には「立志式」を挟む。

##### ③小中教育文化の統合（小中教員による協働体制）

4-3-2のブロックで教職員集団を組織し、ブロックでの組織対応を重視すると同時に学校行事や、異学年交流活動での縦のつながりを意識した教職員の協働をつくり出す。

視察テーマ： 人口定住プロジェクトについて

①人口定住の促進

目標

全国的に少子高齢化が進行する中、米沢市の人口は平成12年の95,396人から、平成22年の89,401人と10年間で約6,000人の減少となっている。「米沢市まちづくり総合計画」で平成27年度の目標人口を93,000人としたが達成は難しく、87,000人に修正をした。また、平成32年の人口目標は、各推計人口（人口問題研究所等83,392人、市の推計80,567人）より多い84,000人としている。

人口定住促進の方策

地域で長く暮してもらおうための環境整備及び市外からの定住促進・交流人口拡大の推進。

⇒安全・安心な生活環境（防災・防犯） 地域の支え合い体制の整備 良好な住環境・自然環境の整備  
UIJターナー者の就業等に対する支援 歴史ある景観・文化の保存・形成 観光客の受入態勢の整備  
各種学会・大会・イベント等の誘致

②子育てを応援し、子ども達を大事に育てるまちづくりの推進

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、若者が安心して子どもを産み育てられるようにすると共に、地域の中で子ども達が郷土への愛着を持つ事が出来るよう切れ目のない支援を展開する。

結婚に対する支援

結婚支援イベント等の出会いの機会づくり事業を推進する。

妊娠期から乳幼児期までにおける支援

医療機関等と連携し、妊娠期から出産まで切れ目のない支援を実施。出産後は乳児家庭全戸訪問等を通して母親に対する適切な支援を実施する。

親子が集える地域子育て支援センターの機能の充実を図り、子育て情報の提供や育児相談に応じる。

乳幼児期から学童期までにおける支援

幼保施設と小学校の連携や交流を促進し、小学校段階へスムーズに移行できるよう支援を行う。また、地域、医療機関、学校等との連携を強化し、児童虐待を防止すると共に、虐待を受けた子どもへのケアや再発防止に向けて保護者等への支援を強化する。

学童期から青年期までにおける支援

子ども達が郷土への愛着を持ち、豊かな心を育む事が出来るよう、学校教育と社会教育の連携・充実を図る。また、不登校やいじめ等の未然防止を図ると共に、学校不適應の子ども達への一貫した支援と、青少年の非行防止のための取り組みを推進する。

子育て中の親が安心して働ける環境の整備

就労などで保育を必要とする子ども達の為の教育・保育の環境整備や放課後における安全な居場所の環境整備を推進する。

保育所における病児保育を実施するなど、働く保護者の子育て支援を行うと共に、育児中や子育て後の再就職についての支援を行う。また事業所内保育所の設置等、企業における子育てしやすい環境整備を促進する為の啓発活動を推進する。

### ③コンパクトなまちづくりの推進

- ・市民が魅力を感じ、楽しめる中心市街地、商店街等を形成し、賑わいを創出する。
- ・市街地の空き地や空き家、空き店舗等を有効活用し、まちなか居住を促進する。
- ・買い物や医療・福祉等の生活サービスを集めた中心市街地を核とした密度の濃いコンパクトなまちづくりを推進すると共に、周辺地域との相互連携を促進する。
- ・文化複合施設（図書館・市民ギャラリー）を拠点として、商店街との連携や多様なイベント等により、中心市街地のにぎわいを創出する。

### ④公共交通の充実

- ・市民の身近な交通手段の確保を図るため、市民バスの利便性向上を推進し、公共交通機関の充実を図ると共に、デマンド型交通システムの導入を推進する。
- ・デマンド型交通システムは現在 1 地区において実証実験中、タクシー会社と提携し、一回 500 円で利用できる。

### ⑤輝くわが町創造事業（住民の手による魅力ある地域づくり）

#### 事業の内容

各コミセン単位の地域ごとに魅力ある地域づくりにつながるテーマを掲げ、そのテーマに沿って事業を企画し、市の認定を受け実施する。（事業内容はハード、ソフトを問わない）

#### 企画方法

各コミセン単位の地域において、老若男女偏りのないメンバーを幅広く募り、企画を作成する。（地域で活動している NPO 等の市民団体などにも広く募る事とする）

#### 事業期間・交付金額（平成 25 年度～平成 27 年度）

事業期間・交付金額は以下のいずれかとし、地域で選んでもらう。但し②、③は事業内容が複数年度でないと効果が期待できないもので、異なる事業を複数年実施する事は出来ない。地域での上乘せは自由。

①H25 年単年度 100 万円 ②H25～H26 年 2 か年 200 万円 ③H25 年～H27 年 3 か年 300 万円

#### 事業報告

事業の中間、終了後には報告会を開催し、広く市民に公開する。

## 視察報告

織部 徹

1 視察日 平成27年7月28日～30日

2 報告(所感)

(1) 7月28日(火) 天童市

○天童市こころの健康づくり推進事業

I 相談機能の充実

- ①こころの相談 ②アルコール家族相談 ③アルコール家族ミーティング  
④こころの体温計の運営 ⑤やまがた若者サポートステーションとの連携

II 地域への普及啓発

- ①健康教室等の機会を捉えて、こころの健康に関する情報発信を実施  
②高齢者の個別ケア事業の実施 ③家族教室

III 人材育成(ゲートキーパー養成)事業

- ①横断支援従事者等を対象とした研修 ②精神保健福祉関係者連絡会議の開催

【こころの体温計事業】

インターネット世代の若者層や勤労者層に対し、こころの健康に対する関心を高め、早期発見・早期治療への啓発推進や自殺予防に資することを目的として、メンタルヘルスのセルフチェックシステム「こころの体温計」を実施している。

【所感】

「高齢者支援 個別ケア事業」では介護予防担当課と連携し、「基本チェックリスト」を活用したスクリーニング家庭訪問による相談を行っている。「基本チェックリスト(健康自立度に関する調査票)」を介護保険認定者を除く介護予防事業対象者の把握を目的に、満65歳以上の人に送付し、予防と把握に努めている。しっかりとした体制で高齢者の健康に寄与していると感じた。

「こころの体温計事業」というインパクトのある名称で東海大学医学部等が開発した自己問診形式のセルフチェック(WHO-5のうつ尺度より)で携帯電話、パソコンなどでアクセス出来るようにしており、効果が期待できるものと感じた。

(2) 7月29日(水) 新庄市

○【新庄市立萩野学園】

中学校1校、小学校3校が統合し、本年4月から開設された、小中一貫校である。

スクールバスが10台運行しており、路線バスの場合は市が負担している。スクールバスの運行費は委託先がなく、市の職員が運行している。

小学校、中学校一体型で2階にプールが設置されている。

体育館は大小二つあり、冬は10度程度の床暖房が入るようになっている。



寒冷地であり、少しの暑さは我慢するというので、教室にはエアコンは設置されていない。

【所感】

- ・新庄市立萩野学園は本年4月開設で、前から準備に関わってきた校長はかなり疲れていたように思う。
- ・小中学校併設であるため、国からの教員配置に優遇があり、また県からの教員加配もあり、結構教員数には余裕があるように思えた。
- ・中学校音楽の教員が小学校の音楽の授業も持ち、専門性が高い授業を受けている。また、中学校だけでは受け持ち授業数が足りない先生の授業数も確保できる。
- ・中学校3年生が小学校新入生の手を引いて入学式場に入ってくる映像を見たが、こころが温まる思いがした。
- ・現在小学校では1学年40人を少し超える状況だが、3年生は現在でも30数人であり、今後小学校についても、近い将来1学級になると思われる。
- ・小中学校併設については、小学校が統合されるという背景があり、成り行きという感がある。

(3) 7月30日(木) 米沢市

○人口定住プロジェクト

- ・人口定住促進ビジョンでは、人口定住プロジェクト会議を立ち上げ、人口減少に歯止めをかけるべく、米沢市まちづくり総合計画のもと、人口目標を立てた。
- ・U I J ターン定住促進事業  
山形暮らしセミナー、ふるさと回帰フェア、J O I N 移住栗生フェアの実施など、定住促進イベントなどを実施した。
- ・U I J 促進パンフレットの作成
- ・おもしろな地域おこし協力隊の設置
- ・米沢市空き屋利活用支援事業補助金
- ・輝くわがまち創造事業～住民の手による魅力ある地域づくり～

【所感】

- ・人口減少に歯止めをかけるために色々な施策・事業を行っている。
- ・加西市と同じような事業に取り組んでいるが、人口減少の度合いが低いので、今真剣に考えているように感じた。
- ・年間に色々なフェア、イベント、シンポジウムなどを行っている。
- ・おもしろな地域おこし協力隊は勢いが感じられ、今からの活動の期待できる。
- ・加西市もよく考え、色々な施策を行っていることを確認し、評価する機会となった。

## 21 政会会派視察報告書

平成27年7月28日～30日（2泊3日） 衣笠 利則

7月28日 天童市 天童すこやかマイ進事業・こころの体温計

＜内容＞すこやかマイ進事業とは自らの健康増進についてポイント制を用いて健康を増進させるものであり、ポイントを貯めることにより景品が貰える様になっているもので、賞品の予算についても医師会、医療機関にお願いをしている。感じとして、個々のマイ進であり、途中でいつでも挫折することができ、継続的な事業としては難しいと思います。グループ的に進めていけば大変よいのでは無いかと思いました。加西市では歩く条例もできており、この様なポイント制を積極的に取り入れてはどうかおもいます。次にこころの体温計の取り組みですが、この取組は、カードを持ち関係の所への自らが相談に行く制度であり、自殺・いじめについては早期に行政、教育者から声かけが大切でありもっと積極的に展開が必要であるとおもいました。

7月29日 新庄市 施設一体型小中一貫教育について

＜内容＞新庄市立萩野学園で話を聴き、学園をみせて頂いた。

総工費 36 億円 生徒数 458 名 職員 50 名で4月8日に開校したばかりで大変充実校舎でした。

これまでのお話、質問が多くでており、大変苦勞されているように思えた。地元の多くの住民の理解も得、出来たように言われていたが、開校式には600人程度の参加者であり、生徒数458人からすると少ないのではないかと思います。様々な面で校長先生、教頭先生のご苦勞が多々今でも有る様に思えた。

加西市も今年度で全ての学校で耐震化工事が終了し、先10年、15年の間で学校の有り方を考えていかなければならないと思います。

小中一貫教育についてもメリット・デメリットをしっかりと検証しなければならぬと特に感じました。

施設については、いろんな所に配慮されて立派なものこうでした。

7月30日 米沢市 人口定住プロジェクトについて

＜内容＞平成17年よりこの人口定住促進にとりくまれているが、今年度に入り総合計画の概要が(案)として立てられその概要版の説明をもらった。

中味については具体性があまり見える事もなく、大きなくくりとしての定住促進事業に思えた。

婚活事業で女性の方が仲人で活動されているのは加西市に於いてもぜひ取り入れる必要があるとおもいました。

## 行政視察の意見と感想

平成 27 年 7 月 28 日（火）～30 日（木）

長田 謙一

### 山形県天童市

#### 視察事項

##### ① 健康マイレージ「T e n d o すこやかM y 進事業」

- ・この目的は市民の健康意識の向上、健康で長生きを目指し市民の健康づくりの促進
- ・天童市は「スポーツ・健康づくり」日本一を目指し健康課主催の事業や、公民館事業、運動施設と連携し、若年から楽しみながら運動や健康づくりの実践を支援

##### ② こころの健康づくり推進事業（こころの体温計）

- ・健康に不安を抱えるかたの増加により「第二次健康てんどう 21 行動計画」の策定し心の健康づくりに積極的に取り組みが健康についての知識の普及・啓発や相談事業など健康・医療・福祉関係者が協力して、こころの健康の保持・増進を図ることを目的に実施

見解としては、健康づくり自分で目標設定をして、スポーツ、イベントに参加することで抽選で景品を貰うことで健康促そうとしているが、加西市も運動ポイント事業があり歩く町づくり条例を制定して貯まったポイントの健康関連グッズと交換して、健康づくりと生活習慣の改善を支援しているので同様の施策と考える。ただ加西市は条例化をしてる点で先進していると考えます。

次にこころの健康事業であるが、これはなかなかいい取り組みと考えます。

気軽にストレス度、落ち込み度のチェックが携帯電話、パソコンで出来る。

自殺予防対策としても活用できる点も先進的である。

ただ、機械に弱い方には少し不便と感じる。

### 山形県新庄市

#### 視察事項

#### 施設一体型

小・中一貫教育 萩野学園視察研修

#### 視察研修事項

- ① 萩野学園開設の経緯
- ② 萩野学園の施設整備
- ③ 萩野学園の教育活動

開設までに 12 年間の経緯を地元の説明会、議会の委員会、地元協議会の立ち上げ等、長期間、地元と一緒に意見交換会を実施し、納得させるのではなく、理解を求めていること。加西市においても、これから先何事においても、じっくり議論すべき点を考えさせられた。又、設備については 36 億円の莫大な金額で建設されていたが、児童、生徒の机等が以前使用していた机の使用であったが何となく矛盾している。

プール施設が 2 階に設置してあるのにも建設費用が高額な設備と考え、もう少し検討すべき課題ではないか。

小中学校の先生の相互の乗り入れは非常に良い考えと感じた。

又、6・3 制を導入しないで、4-3-2 のブロック構成にしたのも小学 6 年生からの中学 1 年生のギャップのない移行も環境に対応しやすいとのことである。

転校生の対応にも十分な配慮がなされ、影響がないようにされていた。

山形県米沢市

視察事項

人口定住プロジェクト

重点的に取り組む施策・事業方針

- ① 人工減少に対応した総合的取り組みの推進
- ② 子育てしやすい町づくりの推進

人口減少の実情は加西市と同様と考えるが、米沢市の現状は 65 歳以上の高齢者が転出する傾向がある。理由として豪雪地帯で冬場の雪下ろしが重労働で市外での生活する家族のもとへ転出する。このことで、1 人でも高齢者が生活できるような対策が必要とのこと。

米沢市においては、土地の調整区域はないとのこと。加西市の現状とは少し異なるが、加西市において、自分の土地であるのに家が建築出来ない現状が懸念材料である。

このことも、子供が加西市に U ターンを遮断している。

子育てしやすい町づくりは、全般的に加西市の施策が充実していると思われる。

**①山形県天童市 Tendo すこやか My 進事業について**

運動不足を解消し、市民の健康維持を目的として、ポイントがたまると景品がもらえるという楽しみを提供して市民に運動を促す取り組み。

ポイント対象事業を指定し、1回参加するごとにポイントがもらえるというシステム。

ラジオ体操など誰にでも取り組みやすいものを市が提供し、市民は誘いあって参加して運動の輪が広がっているとのこと。

またポイント事業でも景品を提供する協賛事業所が増えているという事で、市民全体での健康への取り組みが活発化している。

加西市も「歩こう条例」を制定して市民の健康維持に取り組んでいるが、大いに参考になると思う。

**②山形県天童市 こころの体温計事業について**

今はほとんどの人がパソコンやスマホでインターネットにアクセスできる時代。少し悩みがあれば気軽に「こころの体温計」にアクセスしてチェックし、必要があれば相談窓口で連絡して相談できるという仕組みがあるのは有難い。

特に個人情報を入力しなくても、遊び感覚で気軽にチェックし、自分の状態を知るという部分は重要で、相談窓口を利用しなくても、自分で気分転換したり、休養をとったりするきっかけになると思う。

**③山形県新庄市 施設一体型小中一貫教育について**

新庄市北部の萩野地区は、かつては萩野村として独立した自治体として存在していた。その結びつきが強かったということもあって、スムーズに3小学校を統合して萩野小学校とし、さらに萩野中学校と統合して萩野学園となった。

全校生徒が450人程度という事だが、4-3-2体制の区割り、後期学年では国語、英語、数学まで特別教室で授業をするという教科教室制、異年齢交流などの教育コンセプトを可能にする施設の立派さに驚いた。

(多くの教科教室、教室に隣接するスペースの広さ、広い多目的ホール、屋上のプール、小さな町の図書館のような図書室等)、

小中一貫教育を推進している新庄市の現在唯一の施設一体型小中学校として、他地域のモデルとするという事で大変力を入れている事がよくわかる。

ただ、新庄市の中でもなかなか小学校の統合が進まない地域もあるという事で、色々な形の小中一貫教育をされている。

素晴らしい施設を見ると羨ましいとは思いますが、加西市においてはすでに小中学校校舎への大きな投資は終わりにかけているので、当面は小中連携、小中連携路線で素晴らしい教育を作り上げてほしい。

**④山形県米沢市 人口定住プロジェクトについて**

要するに人口減をどれだけ食い止める事が出来るかという取り組み。婚活、子育て支援、まちなか活性化、公共交通の充実、地域活性化事業と、ほとんど加西市と同じような取り組みが並んでいる。

公共交通ではタクシー会社と提携してデマンド型交通システムの導入を進めているとのこと。加西市も北条鉄道、ねっぴ一号、はっぴーバスの他にもう少しくめの細かい公共交通システムが導入出来たらと思う。

## 2 1 政会視察報告書

原 田 久 夫

今回の視察研修は、30日に組合議会があり山形県天童市一か所実施し翌日に帰路したものです。

視察場所 山形県天童市役所

接見者 天童市議会議長 小松善雄及び議会職員  
健康福祉部福祉課職員2名

視察内容

### 1 T e n d o すこやかMy進事業

#### (1) 事業目的

健康寿命の延伸を目指し、健康意識の向上、健康づくりを促進するため「スポーツ・健康づくり」日本一を目指し、あらゆる関係機関と協力連携し、楽しみながら運動や健康づくりを実践できるよう支援を目的としている。

#### (2) 事業内容

健康づくりに関する運動を中心としたスポーツ、イベント等に参加するたびにポイント制により一定のポイントを獲得することにより抽選で景品を贈呈する。

#### (3) 所感

天童市は、65歳以上が25.6%と加西市より若干少ないようですが、高齢化が加速していく傾向にあり高齢者の健康づくりに行政と各種団体が協力しながら取り組んでいる内容は共感するものがある。

この事業は、まだ市民に浸透していない状況でポイント獲得者の応募が213名と少なく予定数に達していない状況であった。

この事業を行うなら抽選としないで、ポイント獲得者全員に景品を進呈する。また年間ポイント数の多い参加者に表彰するなど事業の拡大が必要と感じた。

当市においても各市町村の取り組みを参考に健康づくりに努力すべきである。

## +2 こころの体温計

この事業は、ストレスや悩みを気軽に診断できるシステムで、天童市のホームページで簡単に今のストレス度がわかる内容であった。

システムの内容は、心の体温計本人モード、家族モード、赤ちゃんモードなど9項目の診断があり多くのメンタルヘルスチェックが可能なシステムであった。

誰もが携帯電話、パソコンで簡単に診断できるが、高齢者の利用に懸念する。しかし、中学生、高校生に啓発を行い利用促進しており「いじめ、成績」などに悩む生徒に少しでも心の安らぎになると感じた。

この利用数は、10か月で13万件と非常に多くアクセスしている。

メンタルヘルスチェックと平行にこころの相談室等年間を通じて日程が組まれているが、中高生徒の心の悩みなどを相談できるシステムの構築が必要と感じた。

このシステム利用者からの相談または、利用者の声が聴けないので効果等の確認が取れていないのでとれるシステムが必要と感じた。

①天童市 ◆天童市健康マイレージ『TendoすこやかMy進事業』について

健康寿命の延伸をめざして市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりを促進する事業の展開である。『スポーツ・健康づくり』日本一を目指す天童市では、健康課主催の事業や関係課・公民館事業・運動施設などと連携し、楽しみながら運動と健康づくりが実践できるように支援となっている。今後、団塊の世代が高齢化する中、医療や介護の負担が増加するために、長寿社会をいかに健康で充実して暮らすことが重要として工夫した取り組みがされている。

健康づくり教室や自主的な健康づくり、スポーツ、イベント等に参加してポイントを貯めて応募して景品（400名分）を獲得するシステムは正に楽しみが倍加する事業であり、多数の高齢者から応募があることは関心も高く成果もあり参考にしたい。医師会等の協賛団体が増加していることやポイント付加対象事業を拡大して充実を図っていることにも注目したい。

◆天童市こころの健康づくり推進事業

市民アンケートの集約で、睡眠が十分に取れないことや飲酒にたよる睡眠導入などの実態から、こころの健康についての知識の普及・啓発や相談事業につなげるために『こころの体温計』事業（名称もユニークである）を展開している。自殺の原因は問題が複雑化していることから、早期発見と早期治療への啓発推進と自殺予防をめざしている。インターネット世代にむけた有効な手軽な取り組みである反面、利用者が限定される部分があると思う。

さらに、高齢者支援としての個別ケア事業としての健康自立度に関する調査表が活用されている点、若年者支援としての思春期支援事業で中学校での講演会を実施している。

②新庄市 『小中学一貫校・萩野学園視察研修』

今春開校した一貫校（児童・生徒数435名）を現地視察して説明を受けた。火災消失した中学校の改築要望が出されたH15年、耐震化の課題と少子化の進行からH18年に教育委員会の施策の柱であった小中一貫校を提案して地元説明会を積み重ねて開校した。市内には小学校7校、中学校5校がある中、小学校3校と1中学校を統廃合して学園として開園した。地域から学校をなくさないでほしい、一貫校のデメリットは、地域の特性や良さが無くなる等の反対意見もあった。

これまでの小中連携教育を発展させるために施設一体型の教育一貫校について意見交換を重ねてきたが、時間をかけた成果が学園の教育活動やPTA活動、推進協議会の協議活動に生かされている。教育過程は4-3-2の3ブロックに再編されている。加配を含めて57名の教職員で運営。異学年交流が多数盛り込まれ、社会性と思いやりを育む工夫有。

③米沢市 『人口定住プロジェクトについて』

人口減少は、市民生活の活力の低下、地域経済や市の財政基盤に大きな影響を及ぼし地域の存立基盤に関わる深刻な問題であり、総合計画（後期基本計画）の重点プロジェクトを受けて、庁内関係部署で会議を重ねて、その検討結果をビジョンとしてまとめた。現時点での総合計画の目標指標の達成は極めて困難ではあるが、様々な施策の実施で人口減少に歯止めをかける考え方で目標を設定している。

人口増対策の特効薬はなし、すぐに成果は見いだせないが、転出者の減少と転入者の増加に向けた地道な取り組み、交流人口の増加に向けた取り組みなど参考になった。大学が3校あることから、新総合計画に創造し続ける学園都市を掲げて市民が積極的に参加するまちづくりを目指して人の連携を意識して立案中である。



**(天童市)****①健康マイレージ「Tendo すこやか My進事業」について**

スポーツや健康づくりの取組みを「健康マイレージ」としてポイント化し、ポイントが貯まれば抽選で景品があたるようにして、健康づくりの実践に努力されている。ポイント対象事業が拡充されていてすばらしい。市が開催する教室や催しの参加だけでなく、民間の各事業所の有料の教室の参加も対象になっている。H26年は213件の抽選申込で、60歳代が多いようで、まさに高齢になるまでの健康管理として良い事業である。1回が10ポイントで、50ポイントで応募でき、楽しみながら健康づくりがなされている。

加西市においても、「運動ポイント事業」が始まっているが、検診や公の催しの参加だけでなく、天童市の「健康マイレージ」に学ぶところが多くある。

**②こころの体温計事業について**

こころの健康づくりについて、精神科医師や精神健康福祉士による相談の実施や、若者や勤労世代には「こころの体温計」で早期発見に努められている。「こころの体温計」は、インターネットでの自己点検ができて、こころの健康状態に対する関心を高め、良い取り組みであると思う。

**(新庄市)****① 施設一体型小中一貫教育について**

萩野学園では、中学校と近隣の3小学校が統合した施設一体型小中一貫教育がなされている。平成15年より中学校の改築と小学校の耐震化の検討に絡めて、小中一貫教育が審議され計画がつけられている。学園の経営方針の第1に、地域に根ざした教育を掲げていて、それまでの地域と学校の密着した関係を生かしながら、持続・強化がされている。「ふるさと学習」「地域で支えるキャリア教育」等で、地域の人々を招いて学んだり、地域に出て行く学習が推進されている。小中一貫教育によって異学年交流が推進されていて、子供同志で学びあうところが大きく、子供たちの笑顔がすばらしいと言われていた。

**(米沢市)****① 人口定住プロジェクトについて**

定住人口の増加に向けて、自然動態の増加に寄与する施策と社会動態の増加に寄与する施策に分けている。自然動態の増加に寄与する施策として、出生率向上の取組、健康寿命を延ばす取組。出会いの機会づくり応援委員会事業としてH23より、市内17地区から選出された委員（世話好きおばちゃん）が互いに情報交換しながら、結婚を希望する「登録者」にお見合いなどの出逢いの場を提供している。今までで、カップル数はお見合い19組、イベント108組、成婚数7組と成果が出ている。

社会動態の増加に寄与する施策として、転入者の増加に向けた取組、転出者の減少に向けた取組、交流人口の拡大に向けた取組。輝くわがまち創造事業として、各コミセン単位で1年目は100万円の交付金、事業が複数年でない効果の出ない場合は、2年目100万、3年目100万の交付。すべての地区で3年間事業がされ、1つのテーマについてじっくりとした取組がなされている。加西市のふるさと創造会議の取組と似たところがあり、取組内容について学ぶところがある。

7月28日(火) 山形県天童市

○天童市健康マイレージ「TendoすこやかMy進事業」について

○こころの体温計事業について

\*天童市健康マイレージ「TendoすこやかMy進事業」について

#### 目的

健康寿命の延伸をめざし、市民一人ひとりの健康意識の向上、主体的な健康づくりを促進する。

「スポーツ・健康づくり」日本一を目指している市として、健康課の事業や関連課、公民館事業、運動施設と連携し、若年から楽しみながら運動や健康づくりを実践できるよう支援する。

#### 事業内容

健康づくりに関する樹種的取組(自分で目標を設定)また、運動を中心とした健康づくり教室、スポーツ、イベントなどに参加することでポイントを付与し、50ポイント数以上を貯めて応募すると、抽選で景品を贈呈する。

市だけでなくあかねエンジョイクラブや、市スポーツセンター、天童高原なども連携して行われます。

#### 事業の実施期間

平成26年7月1日～27年3月31日

#### マイレージカードの配布

健康センター、市役所、公民館、及び各事業時に配布

#### ◎ 所感

市民一人一人が参加する中で若者から高齢者まで、対象者のターゲットを幅広くしながら、景品付きのポイントカードを使用しながら多くの参加を呼び掛けている。

また、ポイント制の導入など楽しみながら運動や健康づくりを実践できるよう支援しているなど市民の多くが参加することに意義があり、そのてんでは、大いに参考になる、ただまだ始めたばかりなのでどの程度実績が上がるのか未知数のところもあるので、今後も注視したい。

#### \*心の体温計事業について

[内容]心の体温計は、気軽にストレス度や落ち込み度をチェックできるセルフチェックシステムである。

#### ◎ 所感

インターネットから気軽に自分の悩み、ストレスなどがどの程度のものなのかチェックできるので素晴らしい取り組みであると思う。

また、いじめなどの心のケアにも役立っている